

平成31年1月 日

清瀬市長 渋谷金太郎 様

地域包括支援センターの役割に対する認識を高めることを目指した
わかりやすいキャッチフレーズの活用に関する提案（案）

（要望の趣旨）

支え合うきよせ委員会は、「地域包括支援センター」の役割が多くの市民に周知されるよう、名称にサブタイトルを付す等の形で表し、市民にとって、身近で分かりやすい機関となるよう次の事項について提案いたします。

【団体名】清瀬市生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体

【代表者名】阿久津州美男

【連絡先】

【住 所】

【電 話】

記

1. 地域包括支援センターの役割に対する認識を高めるための提案

当委員会では、地域の自治会やボランティア、NPO、民生委員などとの意見交換会を複数回開催する中で、地域包括支援センターの名称が多くの市民に浸透していないことがわかった。

「高齢者のこと110番」といった、誰からも相談できるイメージを伝えるキャッチフレーズを名称のサブタイトルに加えた形で活用していくことを提案する。

提案例として、地域包括支援センター関係の発行物やイベントを開催する際には、上記の通り「高齢者のこと110番」というキャッチフレーズを注目しやすい形でつけ、地域支援センターが身近な高齢者の総合相談窓口であり、誰からでも相談できる機関であることを示していく。

具体的な進め方については地域包括支援センターで検討いただきたい。

以上